三木市人権・同和教育協議会だより

NO.2

― 発行元 ―
〒673-0492
三木市上の丸町１０番３０号
三木市市民ふれあい部人権推進課内
三木市人権・同和教育協議会
TEL (0794)82-2000（代）

発行　平成２３年３月１日

三木市人権・同和教育研究大会報告（平成２２年１１月１３日(土)）

「基本的人権を尊重する気運を高めるとともに、部落差別をはじめあらゆる差別を解消する教育内容を構築しよう」をテーマとして、全体会を三木市文化会館、分科会を三木市文化会館、三木市立教育センター、三木市役所において４２５名の参加で実施しました。発表者・司会者・助言者・記録者の方や、参加されたみなさまのおかげで、実りのある大会となりました。ありがとうございました。

各分科会の様子・・・

日々の生活自体が人権教育そのものなんだと気づいた。

先生と保護者と意見交換できてよかった。

【第１分科会：就学前教育】

テーマ

「就学前の豊かな心を育むための教育(保育)内容を創造し、実践しよう」

発表：永尾詩帆先生(えびす保育園)
濱田めぐみ先生(広野幼稚園)

【第２分科会：集団づくり】

テーマ

「互いに認め合い、共に生きようとする仲間づくりをすすめよう」

発表：藤原尚美先生(上吉川小学校)
小林義直先生(緑が丘中学校)

他の園の取組を知り、とても参考になった。

【第３分科会：同和・人権・平和学習】

テーマ

「同和問題をはじめさまざまな人権問題の解決に向けた学習活動をすすめよう」

発表：岩崎　陽先生(中吉川小学校)
牧野晋司先生(吉川高等学校)

教師の熱意が子どもたちに伝わると感じた。

回覧

グループ討議で活発な意見を生み出すことができた。

【第４分科会：進路・学力保障】

テーマ

「差別を見抜き克服する力と自己の進路を切り開く意欲を高めるための取組をすすめよう」

発表：古井秀和先生(吉川中学校)

上井昌好先生(三木東高等学校)

他校種間で交流ができよかった。

同和問題について考える機会がもっと増えればいいと思った。

ずっと学び続ける姿勢を大切にしなければと感じた。

【第５分科会：教育事業】

テーマ

「地域等における学習活動の取組をすすめよう」

発表：田中浩温先生(星陽中学校)

齊藤幹雄さん(あすなろ学級)

【第６分科会：ＰＴＡ】

テーマ

「ＰＴＡとして、同和・人権・平和学習の取組をすすめよう」

発表：尾中義隆さん(上吉川小学校ＰＴＡ)

岩崎祐二さん(自由が丘中学校ＰＴＡ)

人権問題にもっと討議が深まればよかった。

取組をきいて悩みが同じだと思った。

【第７分科会：人権と共生】

テーマ

「人権を尊重し、共に生きる社会を築くために同和・人権・平和学習の取組をすすめよう」

発表：井本稔昭さん(ふれあい学級)

守屋正憲さん(三木南地区宿原南が丘自治会社会教育推進委員)

【第８分科会：企業】

参加者の交流や情報交換ができてよかった。

テーマ

「差別のない明るい職場づくりをめざし、取組をすすめよう」

◎企業内人権研修について、討論

自分の地区へ持ち帰り話し合いたい。

グループ討議でよく話ができてよかった。

～各地推協の取組～ 研究大会の講演会

【三木地区】(H22.11.20)
人権ミニフェスティバル
「人と出会う」書家　小畑延子さん

【三木南地区】(H23.1.22)
「地域で取り組む子育て支援
～児童虐待防止に向けて～」
関西国際大学子育て支援センター
濱田　格子さん

【別所地区】(H23.2.6)
「人権は成長する」
県立加古川東高等学校教諭
井上　浩義さん

【志染地区】(H22.11.28)
「人権は成長する～過去から未来へ」
県立加古川東高等学校教諭
井上　浩義さん

【細川地区】(H22.12.4)
「人の世に熱あれ　人間に光あれ」
加古川市人権教育指導員
東田　寿啓さん

【口吉川地区】(H22.11.6)
「笑顔ある人生　人権あればこそ」
落語家　露の吉次さん

【自由が丘地区】(H23.2.27)
「人にやさしいまちづくりをめざして」
motto ひょうご　栗木　剛さん

【吉川地区】(H23.3.5)
あったかいっていいな大会
「私を育んだ心」
元加古川市人権啓発指導員
小西　恒子さん

毎年、各地推協において、住民学習や研究大会などいろいろ工夫をされ実施されています。その一部を紹介します。

住民学習の工夫

☆開催する回数を増やし、曜日・場所・時間帯を変え、どれに参加してもいいようにする
☆幅広いテーマを用意し、関心のもてる学習会にする
☆毎年の積み重ね、継続が大事
☆「ふるさとに生きる」を活用する

平成23年度　三木市人権・同和教育協議会関係年間行事予定表

月　日	内　容	場　所
５月２１日（土）	三同教総会	市民活動センター
８月２１日（日）	市民じんけんの集い（後援）	三木市文化会館
１１月１９日（土）	三同教研究大会	三木市文化会館
１２月　３日（土）～４日（日）	三木市立総合隣保館文化祭（後援）	三木市立総合隣保館

住民学習のアイスブレーキングにどうでしょう？

アイスブレーキングとは、学習会などの導入に行う「緊張ほぐし」の活動です。この活動をとおして心を開き、学習者同士のコミュニケーションを深め、会がスムーズにすすむきっかけとなります。

「後出しジャンケン」知ってますか？

普通のジャンケンは、「ジャンケン、ホイ」で同時に手を出しますが、後出しジャンケンでは、「ジャンケン、ホイ」と１人が手を出したのを見て、後から「ホイ」と負けるように手を出します。

「後出しジャンケン、ジャンケン、ホイ、ホイ」です。

近くにいる人とやってみてください。

どうですか？意外とむずかしかったのではないでしょうか。だんだんスピードを早くすると盛り上がりますよ。

このように、頭では分かっていて、理解していても、なかなか行動がともなわないこともありますね。

偏見や差別もそうです。頭では「いけないことだ」と分かっていても・・・。

一度、自分の行動をふりかえってみましょう。

【編集後記】

最近、テレビコマーシャルで次のメッセージを聞き、素敵だなと思ったので、紹介します。

「こころ」はだれにも見えないけれど　「こころづかい」は見える

「思い」は見えないけれど　「思いやり」はだれにでも見える

詩人　宮澤章二さんの本「行為の意味」に掲載されている詩の一部です。

思いやりの気持ちを持っていても、なかなか行動に移すことはむずかしいですよね。

言葉や形であらわさないと、心で思うだけでは、相手に届かない・・・。

さりげないこころづかいができる、思いやりのある行動ができる人になりたいものです。